

# 次世代の新たな学校創造事業

令和元年度事業費 20,924千円

## 事業の内容

### ■ 事業目的・概要

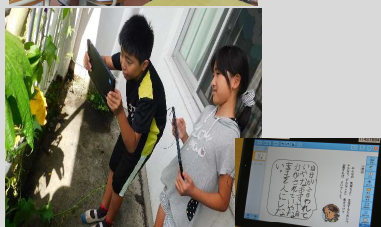
○ Society 5.0時代を生きる子どもたちにとって、教育におけるICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用が教育現場で求められています。

○こうした「次世代の学び」を実現するためには、電子黒板やタブレット端末等のICT機器や、高速通信網等の教育ICTインフラの整備が急務となっています。

○本事業では、文部科学省が推進しているICT環境整備に関する事業を踏まえ、端末・ネットワーク機器の整備や教職員向けのICT機器操作講習会を実施しています。

### ■ 目標

○情報通信技術を活用した学習環境の推進により、「授業の質（教師側）」と「学びの質（児童生徒側）」をさらに高め、次世代の学びを創造します。



## これまでの実績

### ■ タブレットを学校現場に整備

本市では、授業で児童・生徒が使用するタブレット型パソコンを平成29年度から導入し、令和元年度で全ての小中学校にタブレットを整備しました。

タブレット活用方法として、タブレットで、教材配布されたものを、自分で考え、他人との意見比較の際に使用する等様々な活用方法があります。



### ■ 無線LANを学校に整備

無線LAN機器を平成29年度から導入しています。また、平成30年度に公衆無線LANを各小中学校に整備しました。

授業でタブレット型パソコンを使用するため、無線LANの設置は必須です。



### ■ プログラミング学習や教員向けの研修等の実施

ICT機器の活用を図るため、教員向けの研修を行っています。令和元年度においては、タブレット型パソコンを全学校に導入し、操作研修を実施しました。また、講師を招き、これからのICTを基盤とした社会についての講演を実施する等、ICTの事業について理解する機会を設けています。

